

『脳血管内治療における運動誘発電位および視覚誘発電位の評価』

のための医療データ提供のお願い

脳神経外科 教授 中川一郎

脳動脈瘤に対するコイル塞栓術等の脳血管内治療はその低侵襲性が故に本邦においても数多く行われていますが、周術期合併症の報告もありさらなる安全性確実性が求められています。脳血管外科手術においては運動誘発電位 (MEP) および視覚誘発電位 (VEP) モニタリングといった術中のモニタリングの有用性は多く報告がありますが、脳血管内治療における有用性に関する報告は限定的である。MEP および VEP モニタリングにより術中のイベントをリアルタイムに診断し、迅速な処置が可能となりより安全な治療につながる可能性があります。本研究は脳動脈瘤に対するコイル塞栓等の脳血管内治療における術中経頭蓋 MEP および VEP モニタリングの有用性と今後の課題について後方視的に検討することを目的としています。

当院では、この研究のために2014年8月1日～2027年9月30日までの期間に当院で未破裂脳動脈瘤に対して MEP もしくは VEP モニタリング下に脳血管内治療が行われた患者さんの治療内容と治療後1年後までの病状記録を検討します。

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報には固く守られています。また、この研究で得られた情報を取りまとめるために、患者さんの医療データを、登録システムに保存しますが、その際には患者さん個人を特定できる情報（カルテ ID・氏名・住所・電話番号等）は記載しません。同様に、医学雑誌等に発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。ご提供頂いた医療データは厳重に保管され、研究終了後5年後に廃棄されます。本研究は本学医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得たものです。

この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください（2028年12月末まで）。

医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

担当診療科 脳神経外科
担当医師 中川 一郎
電話番号 0744-29-8866